

令和5年5月2日	
資料提供	
担当課(室)	県立紀伊風土記の丘
担当班・係	総務課・学芸課
担当者	藤井達・萩野谷
電話	073-471-6123

「和歌山県立考古民俗博物館（仮称）」基本設計概要の公開について

このたび、和歌山県立紀伊風土記の丘の再編整備に伴い策定した「和歌山県立考古民俗博物館（仮称）」の基本設計の概要・抜粋を公開しました。

和歌山県立紀伊風土記の丘は、昭和46年(1971)の開館以来、特別史跡岩橋千塚古墳群及び本県の考古資料、民俗資料の保存・活用を行ってまいりましたが、資料館の老朽化及び展示・収蔵スペースの不足などの課題解消のため再編整備の必要性が生じています。そこで、令和3年度に「和歌山県立考古民俗博物館（仮称）基本計画」、令和4年度に「考古民俗博物館（仮称）新築他基本設計」、「考古民俗博物館（仮称）収蔵棟新築基本設計」、「和歌山県立考古民俗博物館（仮称）展示・収蔵設備基本設計」、「和歌山県立考古民俗博物館（仮称）設計業務」（造成設計）を策定し、その概要・抜粋を和歌山県立紀伊風土記の丘ホームページに公開しました。

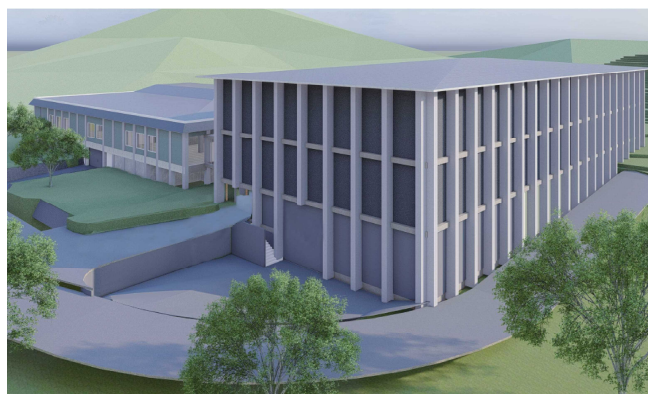
今後は、令和10年度の開館を目標として、県民が利用しやすい博物館を整備していく予定です。

*令和4年度策定基本設計の概要・抜粋 公開 URL <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp/>



外観イメージ

右前：現資料館、奥：博物館（新館）【南東から】



外観イメージ

右前：博物館（新館）、左奥：現資料館【北西から】

和歌山県立紀伊風土記の丘再編事業 基本設計概要

令和5年(2023)5月
和歌山県立紀伊風土記の丘

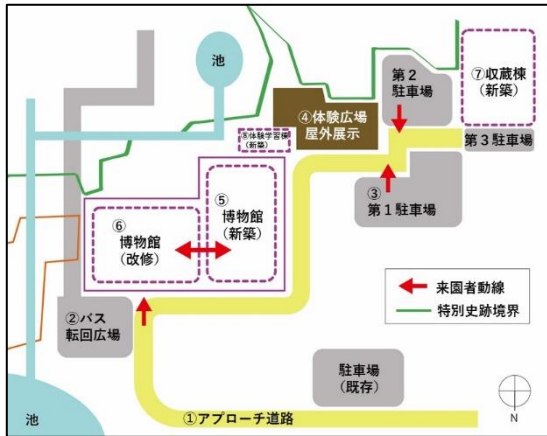
再編工事の概要

- ①アプローチ道路:片方の植樹帯を道路に変更し、対面交通を実現。
- ②バス転回広場:博物館(改修)前まで、バスでのアクセスを実現。
- ③第1~3駐車場:博物館近隣に112台分確保し、利便性を向上。
- ④体験広場・屋外展示:団体利用者の集散場所を確保し、団体利用の利便性を向上。
- ⑤博物館(新築):鉄筋コンクリート造3階建て:3,775㎡。展示室・収蔵庫を配置。
- ⑥博物館(改修):鉄筋コンクリート造平屋建て:1,593㎡、教育普及(子供博物館)・管理・調査研究部門を再配置。
- ⑦収蔵棟(新築):木造平屋建て:1,780㎡(2棟合計)。考古・民俗資料を保管。
- ⑧体験学習棟:木造平屋建て:224㎡、最大収容90人の体験学習室、WC、電気窯を配置。

工事概算額:約51億円
 造成1期:約3億円
 2期:約2億円
 建築(新築・改修):約29億円
 建築(収蔵・体験):約6億円
 展示収蔵工事:約11億円

スケジュール概要

- R5(2023)工事实施設計
- R6(2024)造成工事1期
- R7(2025)収蔵・体験学習棟建設工事
- R8(2026)博物館(新築・改修)工事
- R9(2027)展示工事・造成工事2期
- R10(2028)枯らし/下期:開館



敷地概念図



外観イメージ 左:現資料館・右:博物館(新館)【北東から】

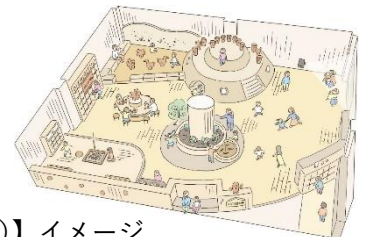


展示室【博物館(新築)2階】

イメージ



体験学習棟パース【北西から】



展示室V【子供博物館:博物館(改修)】イメージ